

会 議 録

会議名 (審議会等名)	第7期相模原市中央区区民会議小委員会（グループ3）		
事務局 (担当課)	中央区役所区政策課 電話042-769-9802（直通）		
開催日時	令和4年12月22日（木） 10時00分～11時40分		
開催場所	市民会館2階 第2中会議室		
出席者	委員	4人（別紙のとおり）	
	その他	1人	
	事務局	2人（区政策課職員）	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	<p style="text-align: center;">開 会</p> <p>1 議題 第7期中央区区民会議重点行動の検討について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検討取組①「地域ネットワークの充実」 ・検討取組②「都市の自然を次世代につなげるまちづくり」 <p>2 その他</p> <p style="text-align: center;">閉 会</p>		

<p>会議結果概要</p>	<p>1 検討取組①「地域ネットワークの充実」について 次の2つの具体的な行動を全体会に諮っていく予定。 (1) 市（広聴広報課）では、「広報さがみはら」を電子又は紙媒体で取得する方法を周知するチラシを作成している。しかし、その周知が行き渡っていない状況があるため、市から相模原市自治会連合会（以下、「自治連」という。）を通じて「自治会の掲示板への掲出」や「自治会回覧」、できれば「自治会員への全戸配布」ができるよう市に働きかける。 (2) 市のみには働きかけるだけではなく、自治連に対しても、チラシの周知に協力していただけるよう働きかける。 なお、自治連に説明する際には、市（広聴広報課）と区民会議が一緒に出席し、説明及び働きかけができるようにする。</p> <p>2 検討取組②「都市の自然を次世代につなげるまちづくり」について 第6期の経過も踏まえ、いくつか具体的な取組について意見が出された。次回のグループワークでは、更に中央区内の各地区でも取り組むことができ、環境を守るという意識を中央区全体で高めていける取組も含め、話し合っていく予定。</p>
<p>主な内容は次のとおり。</p> <p>開 会 事務局から、運営に係る事務説明を行った。 —傍聴希望者 なし—</p> <p>1 議題 事務局より、グループワーク参考資料を配布・説明しグループワークを行った。</p> <p>《重点的な取組5》 広聴広報課宇都宮総括副主幹（以下、「広聴広報」という。）から「広報さがみはらの現状」について別紙資料に基づき説明があった。</p> <p>主な意見等については以下のとおり。</p> <p>（坂本委員） ○A4サイズの変更について検討しているのか。A4サイズに変更すると紙の使用量が半分になるのではないか。</p> <p>（広聴広報） ○A4サイズで発行している自治体は月1回発行が主流となっており、タブロイド版であれば月2回の傾向がある。A4サイズとなるとページ数が多くなってしまう。月1回発行にすると様々なお知らせも月に1回となってしまうため、調整が必要で現状サイズ変更の予定はない。</p> <p>（坂本委員） ○市全体の広報では情報が膨大であるため、区ごとの広報にできないか。</p> <p>（広聴広報） ○例えば大阪市は区ごとに広報を発行しているが、大阪市は課税等について区ごとに独立して行っている。本市はそのような状況ではないため、全市の情報を掲載している。</p> <p>（山口委員） ○以前、15日号については、区ごと紙面だったかと記憶している。</p>	

(広聴広報)

○昨年度より、各区の魅力を全市に伝えるため、全区の情報を掲載している。

(坂本委員)

○一号あたりの発行部数について、令和4年10月15日時点の175,480部と令和3年度の平均182,779部との違いはなにか。

(広聴広報)

新聞購読世帯が減少し、発行部数も減っているということである。

(坂本委員)

○折り込み部数の減は避けられない。全戸配布はできない。デジタル化で取得してもらえないのではないかと。紙媒体が必要な方は、公民館等で取得してもらえないかと。取得方法を周知するチラシを全戸配布することはできないかと。

(広聴広報)

○全戸配布については難しい。

(斎藤委員)

○自治会に加入している方は回覧板で周知してはどうか。

(山口委員)

○周知チラシはいつ作成したものか。

(広聴広報)

○2年以上前と記憶している。

(山口委員)

○自治連に説明を行い、単位自治会で配布もしくは回覧してもらえよう依頼できないか。若者世代はQRコードでの取得が多い。

(坂本委員)

○若者世代は回覧板を見ないため、年に1回で構わないから自治会加入世帯に全戸配布していただきたい。白黒印刷だと見ずに捨てられてしまうためカラー印刷でお願いしたい。

(斎藤委員)

○デジタル化を進めていくべきなので電子での取得方法について周知すべきである。パソコンやスマホ環境がない方に対して、病院等で配架しているのはいい取り組みだと思う。さらに高齢者に向けた配架場所の拡充が必要と考える。

(坂本委員)

○高齢者も関心のある方と無関心の方がいる。無関心の方はこういった取り組みを行っても取得しないのではないかと。

(代田委員)

○PR方法としてコロナの情報に載せてはどうか。

(斎藤委員)

○広報紙の駅への配架先が番田・下溝・相武台下駅を除くとなっているが理由は。

(広聴広報)

○これらの駅については無人駅であり、飛散等があった際に対応ができないとのことで断られた経緯がある。

(山口委員)

○周知チラシの部数が比較的少なくなる掲示板に掲示する方法や自治会加入者への回覧、自治会加入世帯への全戸配布の3案があるのではないかと。これらを実施するには自治連の役員会、理事会への説明が必要である。以前、子育て支援についてQRコードのあるチラシを掲示板に掲示したところ反響があった。

(代田委員)

○現在、広報紙の配架場所は何施設あるのか。

(広聴広報)

○市内約650施設である。

(山口委員)

○掲示板に掲示することで自治会に加入していない方も見る事が出来る。

(坂本委員)

○自治連へ区民会議として要望する際には、広聴広報課も同席していただきたい。

(斎藤委員)

○市で作成する封筒等にQRコードを載せるのはどうか。

(山口委員)

○自治連に相談に行く際にはまず市民協働推進課へ相談するのが良い。

《 重点的な取組6 》

事務局より別紙資料に基づき説明を行った。

主な意見等については以下のとおり。

(斎藤委員)

○市内で様々な分野の講座を行っているが、分野が多く分かれてしまっているため、中央区ならではの講座で、環境に特化したものにするとう参加を依頼しなければ来ていただけない。そのため、環境だけでなく、防犯・防災、魅力や歴史など中央区版の新たなプログラムを作ったらどうか。

(坂本委員)

○誰が講師を行うのか。

(斎藤委員)

○エコネットの輪に登録のある方々に協力をお願いします。

(坂本委員)

○予算はどうするのか。

(斎藤委員)

○今後、相談しながらになるかと思う。受講したら修了証のようなものがあると受講意欲も湧くのではないかと。また、中央区は緑区とは違い自然公園ではなく開発された公園であるが、公園に植える花や樹木について在来種を選択してもらえれば生物多様性に効果があるのではないかと。在来種・外来種との認識が薄い方も多いと思うので中央区の木・花を選定するとよいのではないかと。

(坂本委員)

○将来的にプログラムを作っていくのはいいと思うが、時間がかかってしまうのではないかと。その前に区民会議の全委員を対象とした講座を開催していただきたい。また、自然環境を残すということに対して、大野北地区で行っている民地の取り組みについて視察を行いたい。

(山口委員)

○大野北地区で行っている取組は、市（水みどり環境課）が4人の地権者から20年契約で土地（樹林地）を借用し、公園（市民緑地）として管理している。その公園を地権者の4人を含め14人で清掃等している。現在12年ぐらい経過するが公園に対する愛着が湧いてきており、20年経過時に土地を売却するというにはならないと思う。

(坂本委員)

○地権者は高齢の方なのか。

(山口委員)

○一番若い方で60代後半である。

(坂本委員)

○いずれは相続等の話になると思うので、市に購入してもらいたい。田名地区にはそのような取組はないのか。

(代田委員)

○田名地区は逆に住宅が建ち、なくなってしまっている。

(斎藤委員)

○このような取組を紹介し、民地をみんなの協力で公園として残して、今後もどうやって自然を残すのかを考えていきたい。

(山口委員)

○公園がいたずらされた際には、小学生に看板を作ってもらった。そうすることで、一切いたずらがなくなった。大野北地区の取り組みをモデル地区として紹介したい。

(斎藤委員)

○いろいろな方が協力して管理するのはとてもいい事例だと思うので、より多くの人に知ってもらいたい。

以 上

第7期第3回相模原市中央区区民会議小委員会（グループ3） 委員出欠席名簿

No.	氏 名	所 属 等	出欠席
1	斎 藤 奈 美	特定非営利法人さがみはら環境活動ネットワーク会議	出席
2	坂 本 洋 三	相模原市地区社会福祉協議会中央区連絡会	出席
3	代 田 修	田名地区まちづくり会議	出席
4	丹 波 晴 道	清新地区まちづくり会議	欠席
5	原 田 克 也	一般社団法人相模原市医師会	欠席
6	森 田 麻 里 子	公募委員	欠席
7	八 木 貴 弘	公益社団法人相模原青年会議所	欠席
8	山 口 信 郎	大野北地区まちづくり会議	出席

第7回中央区区行政連絡調整会議出席者名簿

	所属・役職	氏 名
1	広聴広報課総括副主幹	宇都宮 仁紀子